

1 山梨県内公共図書館の概況(平成29年度)

市町村立図書館の建て替えに関する動きとして、市川三郷町では、新図書館が町立生涯学習センター(仮称)、体育館との複合施設として建設を予定している。2019年度に着工、2020年1月の開館を目指す。これに伴い、町立図書館本館は10月31日に閉館となり、閉館イベントとして図書館のあゆみをたどる特別展や、コンサートなどを開催した。平成30年2月からは役場本庁舎内に臨時図書コーナーを設置し、火曜日から金曜日の9時から17時に開館、三珠分館でも火曜日から土曜日の開館に加え、日曜日の9時から17時に開館している。また昭和町では、仮称「昭和町立生涯学習館」建設に向け、2月27日に建設検討委員会を発足した。

図書館リニューアルの動きとして、南アルプス市では、現行の白根桃源図書館が、2018年7月ごろに白根生涯学習センターと併設の形でのリニューアルオープンを予定しており、これに向け10月2日に起工式を行った。また2月19日に中央図書館芦安分館がリニューアルオープンした。

北杜市では、8月30日に金田一春彦記念図書館アーカイブ資料のデジタル化公開を行った。10月には公開を記念し大泉総合会館にて講演会、シンポジウムを開催した。また、小淵沢図書館は、7月、JR小淵沢駅の新駅舎完成記念イベントとして、「佐羽内勇太さんのたのしい鉄道のはなし」を行った。笛吹市は、石和図書館が開館30周年を迎えたことを記念し、11月、市出身の辻村深月氏と語るイベント「夜の図書館で話したい 辻村深月 in 石和図書館」を開催した。山中湖村では、村教育委員会が文学の森フェスタを8月と10月に開催。この一環として、山中湖図書情報創造館では、レゴ、プログラミングのワークショップや上映会を行った。

県立図書館の動きとしては、昨年から一部の市町村立図書館で試行を行っていた「広域返却サービス」を、11市町村24館の協力を得て4月1日に開始した。また、6月から9月にかけては、「第4回贈りたい本大賞」の募集を行い、11月、応募総数3,017点から大賞5点を決定した。7月23日には、山梨県立図書館の交流エリアを会場に、2017甲府ウィキペディア・エディタソン実行委員会と共催で、「甲府ウィキペディア・エディタソン」を開催した。参加者は「山梨県庁別館」や甲府舞鶴城公園にある「謝恩碑」をテーマに、郷土資料を担当する司書の助言を受け、所蔵資料や館内の検索端末を使い、実際に現地を訪れるなどしてウィキペディアのページを編集した。また、阿刀田館長企画事業として、島田雅彦氏、阿木燿子氏、中江有里氏を招いた講演会および館長とのトークショーを開催した。

その他の動きとして、NPO法人山梨子ども図書館顧問の浅川玲子氏が、11月、第47回野間読書推進賞個人の部を受賞した。個人の部受賞者は、第1回受賞の井出きぬゑ氏以来、県内2人目となる。